

ファミリー・サポート・センター

# 地域ぐるみで 子どもを育てる

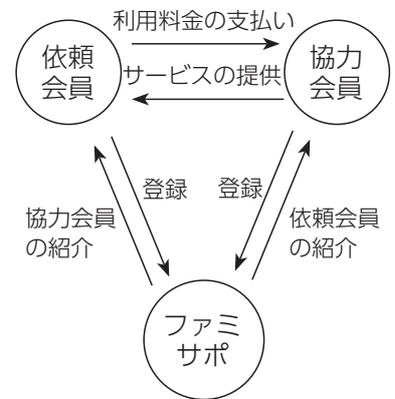
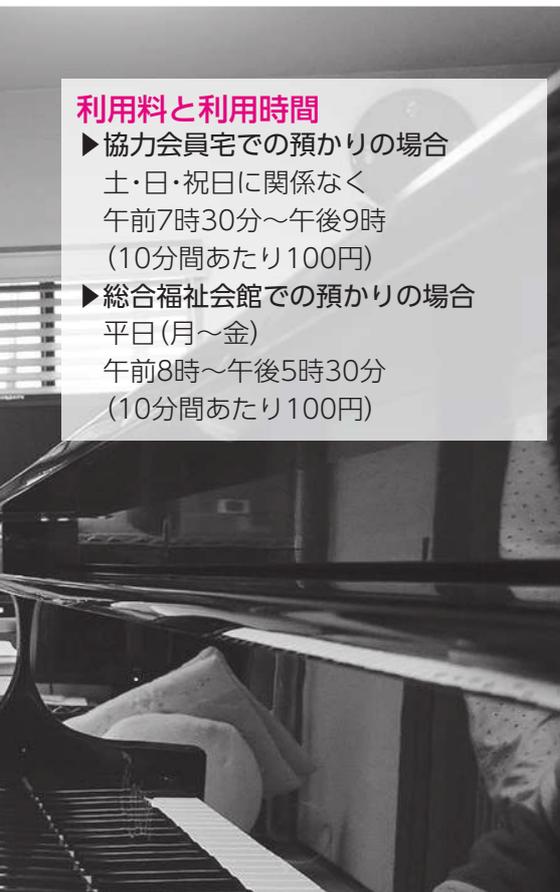
福知山市社会福祉協議会では、子育て中のパパやママなどが仕事や急な用事などで、子どもの面倒を見ることができない時に、一時的・臨時的に地域の人が応援する取り組みを行っています。  
問合〓 福知山市社会福祉協議会 (TEL兼FAX 23・7573)

福知山市社会福祉協議会では、地域での子育て支援の輪を広げることを目的に、「子育ての応援をしてほしい人」(依頼会員)と「子育ての応援をした人」(協力会員)をつなぐ組織を運営しています。それが、『ファミリー・サポート・センター』(以下、ファミサポ)です。

この取り組みは、平成20年から始まりました。平成27年4月末現在の会員数は397人。そのうち、依頼会員は248人、協力会員は116人、両会員は33人です。  
実際にファミサポを利用してのケースを取材しました。

## 利用料と利用時間

- ▶ 協力会員宅での預かりの場合  
土・日・祝日に関係なく  
午前7時30分～午後9時  
(10分間あたり100円)
- ▶ 総合福祉会館での預かりの場合  
平日(月～金)  
午前8時～午後5時30分  
(10分間あたり100円)



「ただいま!」

白敷瑛飛くんの元気な声が玄関に響き渡ります。この日は、ママが仕事で不在のため、協力会員の松原宏美さんが保育園まで迎えに行き、自宅で瑛飛くんを預かります。「子どもが大好きで保育士になることが夢でした。今、その夢が叶っているようです。私が子育てをしていた時は、ファミサポのような預かり制度がなく苦労したので、子育て中のママたちの助けができればという思いで、協力会員に登録しました。お子さん一人ひとりの成長を間近で見ることができるので、依頼会員さんにはとても感謝しています。依頼が来る日を心待ちにしているんです」と笑顔で話す松原さん。

一方、依頼会員の白敷奈奈さんは、「仕事で子どもの面倒を見ることができない時に利用しています。協力会員の松原さんを信頼していて、すべてにおいてお任せしています。こうしてほしい、ああしてほしいと要望したことは一度もありません。協力会員の皆さんに預かっていただくようになって、子どもが誰に対しても社会的になってきたかなと感じます」と話してくれました。

## 読み聞かせは 親子が幸せな時間を過ごすための一つのツール

「幼い頃に楽しかった体験は何?」。高校生に尋ねると「寝る前に絵本を読んでもらったこと」と答える子がたくさんいます。絵本は一人で読むものではなく、誰かに読んでもらい絵を楽しむもの。読み聞かせは子どもに大人が言葉を渡すことだと思っています。聞こえてくる言葉(声)とともに、子どもは親の体温や匂いなど五感で幸せを感じとっているようです。子どもの笑顔を見ると読み手も笑顔になれます。読み聞かせは親子が幸せな時間を過ごすための一つのツール。その時期の季節感や子どもの好きな世界など、親子で一緒に楽しめる絵本を選んでください。

みかんの木文庫代表  
仲野恵子さん

絵本の読み聞かせや人形劇の上演など、市内外でさまざまな活動を行っている「みかんの木文庫」の代表。



## 子育てに関する おもな相談先

### ■子育て支援と

#### 子どもに関わる福祉の窓口

##### 子育て支援課

(TEL24-7011・FAX23-6537)

##### 家庭児童相談室

(TEL24-7066)

### ■乳幼児の発育や発達、 予防接種などについて

#### 中央保健福祉センター

(TEL23-2788・FAX23-5998)

#### 東部保健福祉センター

(TEL58-2090・FAX58-3013)

#### 西部保健福祉センター

(TEL37-1234・FAX37-5002)

#### 北部保健福祉センター

(TEL56-2620・FAX56-2018)

### ■妊娠中から利用ができる

#### 子育て支援拠点

##### あゆみ保育園地域子育て支援 センター

所=東堀 2074-2

(TEL24-2116・FAX24-1376)

##### 三和子育て支援センター

所=三和町千束 657-2

(TEL58-4580・FAX58-3005)

##### 夜久野子育て支援センター

所=夜久野町額田 17-1

(TEL37-0189・FAX37-0189)

##### 大江子育て支援センター

所=大江町関 583

(TEL56-0990・FAX56-0124)

##### 地域子育て支援ひろば

所=中ノ 1-14

(TEL23-5722・FAX45-6066)

※お気軽にご相談ください



自宅で瑛飛くんを預かる松原さん

協力会員・両方会員は、登録後に行うファミサポ講座で、保健師から子どもの生活習慣や社会性について学んだり、救急救命士から救急法などを学んだりしています。また、会員交流会を実施して、日頃のサポートの様子や子育てについて意見交換などを行い、会員同士のつながりも深めています。

「急な用事ができたけれど、子どもを見てくれる人がいない」「退職して時間があるから、地域の子育て世代を応援したい」。そんな悩みや思いを持つ人たちをつなぎ合わせるのがファミサポです。育児に頑張る人を地域でサポートするこの制度。ファミサポでは、子育ての応援をしてほしい人と子育ての応援をしたい人を募集しています。

こんな場合に利用できます

- 保護者などの病気や急用など
- 保護者のリフレッシュ時(買い物・外出など)、通院、冠婚葬祭時など
- 保育所、学校が休みの時など



「ぼちぼちいこか」  
マイク=セイラー・作  
ロバート=グロスマン・絵  
偕成社  
新年度の緊張もほぐれて、ひと休みのこの頃。まずはゆっくりゆっくり、無理しない。ぼちぼちいこか。



「ダンゴムシ みつけたよ」  
皆越ようせい 写真・文  
ポプラ社  
庭のダンゴムシ、子どもたちは大好きです。好きだからこの絵本を楽しんで、絵本で見るから生の世界でも楽しんでほしい。



「かようびのよる」  
デヴィッド・ウィーズナー  
作・絵  
徳間書店  
火曜日の夜8時。かえるが静かにハスの葉に乗り空を飛び始めた。その迫力はまるで3D映画を観ているかのよう。



「おーい はーい」  
和歌山静子・作  
ポプラ社

呼びかけると、返事が返ってくるということ。それはなんとも心地良いことなのだと思えて気づかされました。

みかんの木文庫オススメの絵本